

科目名		自動車エンジン			
担当教員	星野 祐介	実務授業の有無	有		
対象学科	モータースポーツ科 モータースポーツ2級整備士科	対象学年	1年	開講時期	前期
必修・選択	必修	授業形態	対面若しくは遠隔	時間数	8時間
授業概要、目的、授業の進め方	3級ガソリン自動車の教科書を主に使用して、自動車エンジンに関する構造・作動及び安全装置について学ぶ。授業は講義形式で進める。 また、授業時間は、1コマ90分とする。				
学習目標 (到達目標)	自動車エンジンの知識の習得 国家試験3級取得				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	日本自動車整備振興会連合会3級ガソリン自動車 チューニング入門 配布資料 PowerPoint資料 練習問題				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	第1章 総論 内燃機関の概要 内燃機関の分類	PowerPoint資料 3級ガソリン・エンジン教科書			
2	第1章 総論 エンジンの作動	PowerPoint資料 3級ガソリン・エンジン教科書			
3	第1章 総論 燃焼	PowerPoint資料 3級ガソリン・エンジン教科書			
4	第2章 エンジン本体 シリンダヘッド	PowerPoint資料 3級ガソリン・エンジン教科書			
5	第2章 エンジン本体 ピストン ピストンリング	PowerPoint資料 3級ガソリン・エンジン教科書			
6	第2章 エンジン本体 コンロッド クランクシャフト	PowerPoint資料 3級ガソリン・エンジン教科書			
7	第2章 エンジン本体 バルブ機構	PowerPoint資料 3級ガソリン・エンジン教科書			
8	第2章 エンジン本体 エンジン本体の整備・点検	PowerPoint資料 3級ガソリン・エンジン教科書			
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
自動車エンジンは、自動車工学の構造・性能学、自動車整備のエンジンについて評価するものとする。また、定期試験100%で評価する。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 この教科書は出席率100%で評価を行う。(補講にて欠課を補うことができる)		自動車整備士としての基礎知識を身に着ける。			
実務経験教員の経歴		自動車整備経験5年以上ありモータースポーツ経験あり			

自動車エンジン					
科目名	自動車エンジン				
担当教員	星野 祐介		実務授業の有無	有	
対象学科	モータースポーツ科 モータースポーツ2級整備士科	対象学年	1年	開講時期	後期
必修・選択	必修	授業形態	対面若しくは遠隔	時間数	21時間
授業概要、目的、授業の進め方	3級ガソリン自動車の教科書を主に使用して、自動車エンジンに関する構造・作動及び安全装置について学ぶ。授業は講義形式で進める。 また、授業時間は、1コマ90分とする。				
学習目標 (到達目標)	自動車エンジンの知識の習得 国家試験3級取得				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	日本自動車整備振興会連合会3級ガソリン自動車 チューニング入門 配布資料 PowerPoint資料 練習問題				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	第3章 潤滑装置 概要 オイルポンプ		PowerPoint資料 3ガソリン・エンジン教科書		
2	第3章 潤滑装置 オイル・フィルタ オイルパン		PowerPoint資料 3ガソリン・エンジン教科書		
3	第3章 潤滑装置 潤滑装置の整備		PowerPoint資料 3ガソリン・エンジン教科書		
4	第4章 冷却装置 概要 ウォータ・ポンプ ラジエータ		PowerPoint資料 3ガソリン・エンジン教科書		
5	第4章 冷却装置 サーモスタット ファン		PowerPoint資料 3ガソリン・エンジン教科書		
6	第4章 冷却装置 冷却水 冷却装置の整備		PowerPoint資料 3ガソリン・エンジン教科書		
7	第6章 吸排気装置 概要 構造・機能		PowerPoint資料 3ガソリン・エンジン教科書		
8	第5章 燃料装置 概要 機能・構造		PowerPoint資料 3ガソリン・エンジン教科書		
9	第9章 燃料及び潤滑剤 ガソリン エンジン・オイル		PowerPoint資料 3ガソリン・エンジン教科書		
10	第10章 エンジンの点検・整備 概要		PowerPoint資料 3ガソリン・エンジン教科書		
11	第10章 エンジンの点検・整備 パルブタイミング		3ガソリン・エンジン教科書 オリジナル問題集		
12	第10章 エンジンの点検・整備 パルブタイミング4気筒		3ガソリン・エンジン教科書 オリジナル問題集		
13	第10章 エンジンの点検・整備 パルブタイミング6気筒		3ガソリン・エンジン教科書 オリジナル問題集		
14	第10章 エンジンの点検・整備 圧縮 火花		ムービーコム資料 3ガソリン・エンジン教科書		
15	第1章 総論 排出ガス浄化装置 有害ガスの種類		3ガソリン・エンジン教科書		
16	第1章 総論 排出ガス浄化装置 触媒コンバータ EGR		PowerPoint資料 3ガソリン・エンジン教科書		
17	第1章 総論 排出ガス浄化装置 PCV チャコールキャニスタ		PowerPoint資料 3ガソリン・エンジン教科書		
18	市販エンジンと競技用エンジンの違い		オリジナル資料		
19	潤滑装置と冷却装置の練習問題		過去問題、オリジナル問題		
20	吸排気装置と燃料装置と燃料・潤滑剤の練習問題		過去問題、オリジナル問題		
21	エンジン整備と排出ガス浄化装置の練習問題		過去問題、オリジナル問題		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
自動車エンジンは、自動車工学の構造・性能学、自動車整備のエンジンについて評価するものとする。また、定期試験100%で評価する。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 この教科書は出席率100%で評価を行う。(補講にて欠課を補うことができる)			自動車整備士としての基礎知識を身に着ける。		
実務経験教員の経歴			自動車整備経験5年以上ありモータースポーツ経験あり		

科目名		自動車シャシ			
担当教員	井上 秋浩	実務授業の有無	有		
対象学科	モータースポーツ科 モータースポーツ2級整備士科	対象学年	1年	開講時期	前期
必修・選択	必修	授業形態	対面若しくは遠隔	時間数	8時間
授業概要、目的、授業の進め方	3級自動車シャシの教科書を主に副教材としてチューニング入門を使用して、自動車シャシに関する構造・作動及び安全装置について学ぶ。授業は講義形式で進める。 また、授業時間は、1コマ90分とする。				
学習目標 (到達目標)	自動車シャシの知識の習得 国家試験3級シャシの知識の習得				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	日本自動車整備振興会連合会3級自動車シャシ グランプリ出版チューニング入門 配布資料 PowerPoint資料 練習問題				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	第1章 総論 自動車の原理と性能	PowerPoint資料 3級シャシ教科書			
2	第1章 総論 自動車の構成、安全装置	PowerPoint資料 3級シャシ教科書			
3	第5章 ホイール及びタイヤ 概要	PowerPoint資料 3級シャシ教科書			
4	第5章 ホイール構造 リム、オフセット、取付等について	PowerPoint資料 3級シャシ教科書			
5	第5章 タイヤの構造 トレッド、カーカス、呼びについて	PowerPoint資料 3級シャシ教科書			
6	第5章 タイヤの摩耗、異常現象、バランスについて	PowerPoint資料 3級シャシ教科書			
7	第5章 ホイール及びタイヤ 整備	PowerPoint資料 3級シャシ教科書			
8	前期まとめ 練習問題	PowerPoint資料 3級シャシ教科書			
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
自動車シャシは、自動車工学の構造・性能学、自動車整備のシャシについて評価するものとする。また、定期試験100%で評価する。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 この教科は出席率100%で評価を行う。(補講にて欠課を補うことができる)		自動車整備士としての基礎知識を身に着ける。			
実務経験教員の経歴	自動車整備経験9年以上あり				

科目名		自動車シャシ			
担当教員	井上 秋浩	実務授業の有無	有		
対象学科	モータースポーツ科 モータースポーツ2級整備士科	対象学年	1年	開講時期	後期
必修・選択	必修	授業形態	対面若しくは遠隔	時間数	14時間
授業概要、目的、授業の進め方	3級自動車シャシの教科書を主に、副教材としてチューニング入門を使用して、自動車シャシに関する構造・作動及び安全装置について学ぶ。授業は講義形式で進める。 また、授業時間は、1コマ90分とする。				
学習目標 (到達目標)	自動車シャシの知識の習得 国家試験3級シャシの知識の習得				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	日本自動車整備振興会連合会3級自動車シャシ グランプリ出版チューニング入門 配布資料 PowerPoint資料 練習問題				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	第2章 動力伝達装置 概要 クラッチ種類、構造	PowerPoint資料 3級シャシ教科書			
2	第2章 クラッチ作動説明、操作機構、調整、故障原因	PowerPoint資料 3級シャシ教科書			
3	第2章 トランスミッション概要 種類、ギヤ比求め方	PowerPoint資料 3級シャシ教科書			
4	第2章 M/T構造、動力伝達経路、作動	PowerPoint資料 3級シャシ教科書			
5	第2章 M/Tシンクロメッシュ機構構造、故障原因	PowerPoint資料 3級シャシ教科書			
6	第2章 A/T種類、トルクコンバーター構造	PowerPoint資料 3級シャシ教科書			
7	第2章 ギヤユニット構造、油圧制御装置	PowerPoint資料 3級シャシ教科書			
8	第2章 プロペラシャフト、ドライブシャフト概要、構造	PowerPoint資料 3級シャシ教科書			
9	第2章 ジョイント、トランスファー概要、構造	PowerPoint資料 3級シャシ教科書			
10	第2章 ファイナル、ディファレンシャルギヤ概要、構造	PowerPoint資料 3級シャシ教科書			
11	第2章 動力伝達装置 整備	PowerPoint資料 3級シャシ教科書			
12	第3章 アクスル及びサスペンション概要 車軸懸架式構造	PowerPoint資料 3級シャシ教科書			
13	第3章 独立懸架式構造、種類	PowerPoint資料 3級シャシ教科書			
14	後期まとめ 練習問題	過去問題、オリジナル問題			
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
自動車シャシは、自動車工学の構造・性能学、自動車整備のシャシについて評価するものとする。また、定期試験100%で評価する。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 この教科は出席率100%で評価を行う。(補講にて欠課を補うことができる)		自動車整備士としての基礎知識を身に着ける。			
実務経験教員の経歴	自動車整備経験9年以上あり				

科目名		自動車電装				
担当教員	星野 祐介		実務授業の有無	有		
対象学科	モータースポーツ科 モータースポーツ2級整備士科		対象学年	1年	開講時期	前期
必修・選択	必修		授業形態	対面若しくは遠隔	時間数	8時間
授業概要、目的、授業の進め方	3級自動車シャシ、3級自動車ガソリン・エンジン、電装品構造の教科書を主に使用して、自動車電装に関する構造、電気回路及び安全装置について学ぶ。授業は講義形式で進める。 また、授業時間は、1コマ90分とする。					
学習目標 (到達目標)	自動車電装の知識の習得 国家試験3級取得					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	日本自動車整備振興会連合会 3級自動車ガソリンエンジン、3級自動車シャシ 全国自動車大学校・整備専門学校協会 電装品構造 配布資料 PowerPoint資料 練習問題					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考			
1	自動車電装 概要 電流の三作用		3級ガソリン 3級シャシ 電装品構造 教科書			
2	電流 電圧 抵抗 導体・不導体		3級ガソリン 3級シャシ 電装品構造 教科書			
3	電気回路 回路図記号		3級ガソリン 3級シャシ 電装品構造 教科書			
4	オームの法則 練習問題		3級ガソリン 3級シャシ 電装品構造 教科書			
5	オームの法則 練習問題		3級ガソリン 3級シャシ 電装品構造 教科書			
6	コンデンサ ヒューズ ヒューズブルリンク		3級ガソリン 3級シャシ 電装品構造 教科書			
7	半導体 ダイオード トランジスタ		3級ガソリン 3級シャシ 電装品構造 教科書			
8	前期まとめ 練習問題		過去問題、オリジナル問題			
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
評価方法・成績評価基準			履修上の注意			
自動車電装は、自動車工学の電気・電子理論、自動車整備の電装について評価するものとする。また、定期試験100%で評価する。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 この教科は出席率100%で評価を行う。(補講にて欠課を補うことができる)			自動車整備士としての基礎知識を身に着ける。			
実務経験教員の経歴		自動車整備経験5年以上ありモータースポーツ経験あり				

科目名		自動車電装			
担当教員	星野 祐介		実務授業の有無	有	
対象学科	モータースポーツ科 モータースポーツ2級整備士科	対象学年	1年	開講時期	後期
必修・選択	必修	授業形態	対面若しくは遠隔	時間数	14時間
授業概要、目的、授業の進め方	3級自動車シャシ、3級自動車ガソリン・エンジン、電装品構造の教科書を主に使用して、自動車電装に関する構造、電気回路及び安全装置について学ぶ。一部低圧電気取扱い講習講義。 授業は講義形式で進める。 また、授業時間は、1コマ90分とする。				
学習目標 (到達目標)	自動車電装の知識の習得 国家試験3級取得				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	日本自動車整備振興会連合会 3級自動車ガソリンエンジン 3級自動車シャシ 全国自動車大学校・整備専門学校協会 電装品構造 低圧電気取扱いの知識 配布資料 PowerPoint資料 練習問題				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	前期 復習	3級ガソリン 3級シャシ 電装品構造 教科書			
2	自動車用バッテリー 概要 種類	3級ガソリン 3級シャシ 電装品構造 教科書			
3	自動車用バッテリー 電解液 比重 性能ランク	3級ガソリン 4級シャシ 電装品構造 教科書			
4	自動車用バッテリー 普通充電 急速充電 注意点	3級ガソリン 5級シャシ 電装品構造 教科書			
5	低圧電気取扱い 低圧の電気・電気設備に関する基礎知識	低圧電気取扱いの知識 電装品構造 教科書			
6	低圧電気取扱い 低圧の電気・電気設備に関する基礎知識	低圧電気取扱いの知識 電装品構造 教科書			
7	オルタネータ 概要	3級ガソリン 3級シャシ 電装品構造 教科書			
8	オルタネータ 構造 機能	3級ガソリン 3級シャシ 電装品構造 教科書			
9	オルタネータ 作動	3級ガソリン 3級シャシ 電装品構造 教科書			
10	スタータ 概要 種類	3級ガソリン 3級シャシ 電装品構造 教科書			
11	スタータ 構造	3級ガソリン 3級シャシ 電装品構造 教科書			
12	スタータ 作動	3級ガソリン 3級シャシ 電装品構造 教科書			
13	後期まとめ 練習問題	過去問題、オリジナル問題			
14	後期まとめ 練習問題	過去問題、オリジナル問題			
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
自動車電装は、自動車工学の電気・電子理論、自動車整備の電装について評価するものとする。また、定期試験100%で評価する。 低圧電気取扱い講習の試験は、整備実習 電装2で行うものとする。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 この教科は出席率100%で評価を行う。(補講にて欠課を補うことができる)		自動車整備士としての基礎知識を身に着ける。			
実務経験教員の経歴		自動車整備経験5年以上ありモータースポーツ経験あり			

科目名	一般工学 力学数学				
担当教員	星野 祐介	実務授業の有無	有		
対象学科	モータースポーツ科 モータースポーツ2級整備士科	対象学年	1年	開講時期	後期
必修・選択	必修	授業形態	対面若しくは遠隔	時間数	8時間
授業概要、目的、授業の進め方	基礎自動車工学の教科書を主に副教材として練習問題を使用して、自動車整備に関する力学・数学について学ぶ。授業は講義形式で進める。 また、授業時間は、1コマ90分とする。				
学習目標 (到達目標)	国家試験3級の知識の習得				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	日本自動車整備振興会連合会 基礎自動車工学 配布資料 練習問題				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	基礎的な原理・法則 単位 単位変換	基礎自動車工学 練習問題			
2	基礎的な原理・法則 速度	基礎自動車工学 練習問題			
3	基礎的な原理・法則 トルク 力のモーメント	基礎自動車工学 練習問題			
4	基礎的な原理・法則 排気量 圧縮比	基礎自動車工学 練習問題			
5	基礎的な原理・法則 変速比 駆動力	基礎自動車工学 練習問題			
6	基礎的な原理・法則 燃料消費率	基礎自動車工学 練習問題			
7	基礎的な原理・法則 電気回路	基礎自動車工学 練習問題			
8	後期まとめ 練習問題	過去問題、オリジナル問題			
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
一般工学 力学数学は、自動車工学の力学・数学について評価するものとする。また、定期試験100%で評価する。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 この教科は出席率100%で評価を行う。(補講にて欠課を補うことができる)		自動車整備士としての基礎知識を身に着ける。			
実務経験教員の経歴	自動車整備経験5年以上ありモータースポーツ経験あり				

科目名		自動車材料・燃料・油脂			
担当教員	星野 祐介		実務授業の有無	有	
対象学科	モータースポーツ科 モータースポーツ2級整備士科	対象学年	1年	開講時期	前期
必修・選択	必修	授業形態	対面若しくは遠隔	時間数	4時間
授業概要、目的、授業の進め方	基礎自動車工学の教科書を主に使用して、自動車の材料や燃料、油脂について学ぶ。授業は講義形式で進める。 また、授業時間は、1コマ90分とする。				
学習目標 (到達目標)	自動車の材料・燃料・油脂の知識の習得 国家試験3級取得				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	日本自動車整備振興会連合会 基礎自動車工学 3級ガソリン教科書 3級シャン教科書 練習問題				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	自動車の材料 概要 鉄鋼 熱処理		基礎自動車工学教科書		
2	自動車の材料 非鉄金属 樹脂 ガラス 塗料		基礎自動車工学教科書		
3	自動車の燃料 概要 ガソリン 軽油		基礎自動車工学教科書		
4	自動車の燃料 オイル 前期まとめ 練習問題		基礎自動車工学教科書 練習問題		
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
自動車材料・燃料・油脂は、自動車工学の材料、燃料・潤滑剤について評価するものとする。また、定期試験100%で評価する。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 この教科書は出席率100%で評価を行う。(補講にて欠課を補うことができる)			自動車整備士としての基礎知識を身に着ける。		
実務経験教員の経歴		自動車整備経験5年以上ありモータースポーツ経験あり			

科目名		自動車エンジン			
担当教員	星野 祐介		実務授業の有無	有	
対象学科	モータースポーツ科 モータースポーツ2級整備士科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	授業形態	対面若しくは遠隔	時間数	8時間
授業概要、目的、授業の進め方	3級ガソリン自動車の教科書を主に使用して、自動車エンジンに関する構造・作動及び安全装置について学ぶ。授業は講義形式で進める。 また、授業時間は、1コマ90分とする。				
学習目標 (到達目標)	自動車エンジンの知識の習得 国家試験3級取得				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	日本自動車整備振興会連合会3級ガソリン自動車 チューニング入門 配布資料 PowerPoint資料 練習問題				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	第7章 電気装置 点火装置 概要 高電圧発生の原理	PowerPoint資料 3級ガソリン・エンジン教科書			
2	第7章 電気装置 点火装置 イグニッション・コイル	PowerPoint資料 3級ガソリン・エンジン教科書			
3	第7章 電気装置 スパーク・プラグ 点検・整備	PowerPoint資料 3級ガソリン・エンジン教科書			
4	第8章 電子制御 概要	PowerPoint資料 3級ガソリン・エンジン教科書			
5	第8章 電子制御 吸気系統	PowerPoint資料 3級ガソリン・エンジン教科書			
6	第8章 電子制御 燃料系統 点火系統	PowerPoint資料 3級ガソリン・エンジン教科書			
7	第8章 電子制御 制御系統	PowerPoint資料 3級ガソリン・エンジン教科書			
8	前期まとめ 練習問題	過去問題 オリジナル問題			
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
自動車エンジンは、自動車工学の構造・性能学、自動車整備のエンジンについて評価するものとする。また、定期試験100%で評価する。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 この教科は出席率100%で評価を行う。(補講にて欠課を補うことができる)		自動車整備士としての基礎知識を身に着ける。			
実務経験教員の経歴		自動車整備経験5年以上ありモータースポーツ経験あり			

科目名		自動車エンジン 1/2			
担当教員	星野 祐介		実務授業の有無	有	
対象学科	モータースポーツ科 モータースポーツ2級整備士科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	授業形態	対面若しくは遠隔	時間数	42時間
授業概要、目的、授業の進め方	3級ガソリン、ジーゼル自動車の教科書を主に使用して、自動車エンジンに関する構造・作動及び安全装置について学ぶ。授業は講義形式で進める。 また、授業時間は、1コマ90分とする。				
学習目標 (到達目標)	自動車エンジンの知識の習得 国家試験3級取得				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	日本自動車整備振興会連合会3級ガソリン、ジーゼル自動車 チューニング入門 配布資料 PowerPoint資料 練習問題				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	第1章 総論 概要		PowerPoint資料 3級ジーゼル・エンジン教科書		
2	第1章 総論 燃焼の過程		PowerPoint資料 3級ジーゼル・エンジン教科書		
3	第1章 総論 熱効率 排出ガス		PowerPoint資料 3級ジーゼル・エンジン教科書		
4	第2章 エンジン本体 シリンダヘッド シリンダブロック		PowerPoint資料 3級ジーゼル・エンジン教科書		
5	第2章 エンジン本体 ピストン ピストンリング		PowerPoint資料 3級ジーゼル・エンジン教科書		
6	第2章 エンジン本体 シリンダ バルブ機構		PowerPoint資料 3級ジーゼル・エンジン教科書		
7	第3章 潤滑装置		PowerPoint資料 3級ジーゼル・エンジン教科書		
8	第4章 冷却装置		PowerPoint資料 3級ジーゼル・エンジン教科書		
9	第6章 吸排気装置		PowerPoint資料 3級ジーゼル・エンジン教科書		
10	第7章 電気装置 予熱装置		PowerPoint資料 3級ジーゼル・エンジン教科書		
11	第5章 燃料装置 概要		PowerPoint資料 3級ジーゼル・エンジン教科書		
12	第5章 燃料装置 インジェクションポンプ概要		PowerPoint資料 3級ジーゼル・エンジン教科書		
13	第5章 燃料装置 プランジャ		PowerPoint資料 3級ジーゼル・エンジン教科書		
14	第5章 燃料装置 デリバリバルブ		PowerPoint資料 3級ジーゼル・エンジン教科書		
15	第5章 燃料装置 ガバナ		PowerPoint資料 3級ジーゼル・エンジン教科書		
16	第5章 燃料装置 タイマ		PowerPoint資料 3級ジーゼル・エンジン教科書		
17	第5章 燃料装置 インジェクションノズル		PowerPoint資料 3級ジーゼル・エンジン教科書		
18	第5章 燃料装置 ノズルホルダ		PowerPoint資料 3級ジーゼル・エンジン教科書		
19	第5章 燃料装置 点検・整備		PowerPoint資料 3級ジーゼル・エンジン教科書		
20	第5章 第6章 エンジン停止機構		PowerPoint資料 3級ジーゼル・エンジン教科書		
21	燃料系練習問題		過去問題 オリジナル問題		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
自動車エンジンは、自動車工学の構造・性能学、自動車整備のエンジンについて評価するものとする。また、定期試験100%で評価する。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 この教科は出席率100%で評価を行う。(補講にて欠課を補うことができる)			自動車整備士としての基礎知識を身に着ける。		
実務経験教員の経歴		自動車整備経験5年以上ありモータースポーツ経験あり			

科目名		自動車エンジン 2/2			
担当教員	星野 祐介		実務授業の有無	有	
対象学科	モータースポーツ科 モータースポーツ2級整備士科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	授業形態	対面若しくは遠隔	時間数	—
授業概要、目的、授業の進め方	3級ガソリン、ジーゼル自動車の教科書を主に使用して、自動車エンジンに関する構造・作動及び安全装置について学ぶ。授業は講義形式で進める。 また、授業時間は、1コマ90分とする。				
学習目標 (到達目標)	自動車エンジンの知識の習得 国家試験3級取得				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	日本自動車整備振興会連合会3級ガソリン、ジーゼル自動車 チューニング入門 配布資料 PowerPoint資料 練習問題				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
22	第1章 総論 燃焼 練習問題		過去問題 オリジナル問題		
23	第1章 総論 排出ガス 練習問題		過去問題 オリジナル問題		
24	第2章 エンジン本体 練習問題		過去問題 オリジナル問題		
25	第3章 潤滑装置 練習問題		過去問題 オリジナル問題		
26	第4章 冷却装置 練習問題		過去問題 オリジナル問題		
27	第6章 吸排気装置 練習問題		過去問題 オリジナル問題		
28	第7章 予熱装置 練習問題		過去問題 オリジナル問題		
29	第5章 燃料装置 練習問題		過去問題 オリジナル問題		
30	第5章 燃料装置 インジェクションポンプ 練習問題		過去問題 オリジナル問題		
31	第5章 燃料装置 ガバナ 練習問題		過去問題 オリジナル問題		
32	第5章 燃料装置 タイマ 練習問題		過去問題 オリジナル問題		
33	第5章 燃料装置 インジェクションノズル 練習問題		過去問題 オリジナル問題		
34	第9章 エンジンの点検・整備		PowerPoint資料 3級ジーゼル・エンジン教科書		
35	第9章 エンジンの点検・整備 練習問題		過去問題 オリジナル問題		
36	ジーゼル・エンジン 練習問題		過去問題 オリジナル問題		
37	ジーゼル・エンジン 国家試験問題		過去問題		
38	ジーゼル・エンジン 問題解説		PowerPoint資料 3級ジーゼル・エンジン教科書		
39	ガソリン・エンジン 練習問題		過去問題 オリジナル問題		
40	ガソリン・エンジン 国家試験問題		過去問題		
41	ガソリン・エンジン 問題解説		PowerPoint資料 3級ガソリン・エンジン教科書		
42	後期まとめ 練習問題		過去問題 オリジナル問題		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
自動車エンジンは、自動車工学の構造・性能学、自動車整備のエンジンについて評価するものとする。また、定期試験100%で評価する。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 この教科は出席率100%で評価を行う。(補講にて欠課を補うことができる)			自動車整備士としての基礎知識を身に着ける。		
実務経験教員の経歴		自動車系ディーラにて整備経験を5年以上経験している			

科目名		自動車電装			
担当教員	井上 秋浩	実務授業の有無	有		
対象学科	モータースポーツ科 モータースポーツ2級整備士科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	授業形態	対面若しくは遠隔	時間数	8時間
授業概要、目的、授業の進め方	3級自動車シャシ、3級自動車ガソリン・エンジン、電装品構造の教科書を主に使用して、自動車電装に関する構造、電気回路及び安全装置について学ぶ。授業は講義形式で進める。 また、授業時間は、1コマ90分とする。				
学習目標 (到達目標)	自動車電装の知識の習得 国家試験3級取得				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	日本自動車整備振興会連合会 3級自動車ガソリンエンジン 3級自動車シャシ 全国自動車大学校・整備専門学校協会 電装品構造 配布資料 PowerPoint資料 練習問題				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	1年次電装復習	3級ガソリン 3級シャシ 電装品構造 教科書			
2	冷暖房装置 概要 構造 機能	3級ガソリン 3級シャシ 電装品構造 教科書			
3	冷暖房装置 作動	3級ガソリン 3級シャシ 電装品構造 教科書			
4	ヘッドランプ 概要 構造 機能	3級ガソリン 3級シャシ 電装品構造 教科書			
5	ストップランプ バックアップランプ ヒューズ	3級ガソリン 3級シャシ 電装品構造 教科書			
6	多重通信 概要 CAN LIN	3級ガソリン 3級シャシ 電装品構造 教科書			
7	オームの法則 練習問題	過去問題、練習問題			
8	前期まとめ 練習問題	過去問題、練習問題			
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
自動車電装は、自動車工学の電気・電子理論、自動車整備の電装について評価するものとする。また、定期試験100%で評価する。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 この教科は出席率100%で評価を行う。(補講にて欠課を補うことができる)		自動車整備士としての基礎知識を身に着ける。			
実務経験教員の経歴		自動車整備経験9年以上あり			